



(参考仮訳)

プレスリリース No. 10/446

即時解禁

2010年11月19日

国際通貨基金 (IMF)

米国・ワシントン DC

**ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事、  
欧州の成長回復に向け、広範な改革の実施を提言**

国際通貨基金 (IMF) のドミニク・ストロスカーン専務理事は本日、欧州に対し、長期に渡るダイナミックな持続的経済成長の回復、並びに欧州社会モデルの維持に向け、協調的な取り組みの下で大々的な改革を実施するよう提言を行った。

フランクフルトで開催された欧州銀行会議でのスピーチで、ストロスカーン氏は「欧州は、低成長という束縛を打破し、これ以上次善の結果に甘んじるようなことはあってはならない」と述べた。「これが、社会モデルを維持し、欧州という運命共同体を実現するための唯一の手段である。総じて以前は、欧州は優れた成果を挙げていたが、再びそのような状態に回帰する必要がある」

ストロスカーン氏は、同氏が言う「最優先課題」である金融部門の再建から「単一労働市場に向けたイニシアティブ」さらには欧州内での成長の再調整など、対応が求められる複数の分野を提示した。また同氏は、より根本的には、中央による協調的アプローチを採ることではじめて、安定性の確保、雇用の創出、並びに長期的な成長の確保の実現に向け必要な改革を構築することができると述べた。同氏は「課題の解決を加盟国に一任した場合、事態は膠着する。方針を変えるべき時が来たのだ。運命共同体としての欧州連合 (EU) を実現する上で重要な、金融、経済、及び社会政策をはじめとした全ての分野で、中央が主導権を握る必要がある。各国は、中央への権力の移行を更に進める必要がある。各種制度が、各国に改革へのインセンティブを与えるものとなるよう、見直す必要がある」と指摘した。

ストロスカーン専務理事は「唯一の答えは、一段と協力を推進し統合を進めることだ」と述べた。「最終的には、我々は欧州が達成してきたことを維持する必要がある。EU の経済的基盤を強化する段階に我々はあるのだ」